

令和4年5月2日

## 「羽曳野市スポーツ・観光大使」に ダルビッシュ有投手が就任

米大リーグ、サンディエゴ パドレスに所属のダルビッシュ有投手（羽曳野市出身）を「羽曳野市スポーツ・観光大使」に委嘱いたします。

羽曳野市では、令和4年度より羽曳野市特命大使を制定し、文化、スポーツ、芸術など各界で活躍されている方で、本市にゆかりのある方に大使として委嘱し、羽曳野市の魅力発信をしていただきます。

解禁日	5月13日（金）朝刊以降 （インターネット版・ラジオ・テレビは5月12日 午後0時（正午）以降）
分野	羽曳野市特命大使「羽曳野市スポーツ・観光大使」 期間：委嘱日より3年
委嘱日	5月12日（木） ※スポーツ・観光大使の委嘱式は現在未定です。
コメント	サンディエゴ パドレスのダルビッシュ有です。 この度は羽曳野市スポーツ観光大使に就任する事ができ大変光栄に思っております。 生まれ育った大阪羽曳野市の魅力を皆様に少しでも知っていただけるように努めて参ります。
問合せ	秘書課広報担当



## ダルビッシュ有

(だるびっしゅ ゆう)

[本名] ダルビッシュ セファット ファリード 有

[生年月日] 1986年8月16日 (35歳)

[出身地] 大阪府羽曳野市

### 【経歴】

2004年に北海道日本ハムに入団。

2007年には15勝を挙げ沢村賞を獲得。第2回WBCでは胴上げ投手となり、日本の連覇にも大きく貢献した(WBC大会記録 20奪三振)。

2011年シーズンは5年連続防御率1点台の大記録も樹立。同年のオフに、米大リーグ テキサス・レンジャーズへ移籍。

2012年メジャー1年目16勝をマークする活躍。

2017年シーズン途中でロサンゼルス・ドジャースへ移籍。

1,000奪三振を達成(史上最速)。ワールドシリーズに進出。

2018年シカゴ・カブスに移籍。

2020年60試合制のシーズンで8勝をマーク。日本人投手では初の最多勝のタイトルを獲得し、サイ・ヤング賞(最優秀選手賞)候補にも選ばれた。

2021年サンディエゴ・パドレスに移籍。

2022年1,600奪三振達成(史上最速)

### 【羽曳野市への寄付】

平成20年(2008年)よりダルビッシュ投手が公式戦で1勝するごとに10万円を故郷の羽曳野市に寄付する「ダルビッシュ有子ども福祉基金」を設立。

市内児童養護施設の子どもたちへグローブやユニフォームなどの野球用品や、野球観戦ツアーに招待。市内小学校などにスポーツ用品を寄贈。市立中央図書館には「ダルビッシュ有文庫」開設する。平成20年(2008年)と平成25年(2013年)にはダルビッシュ有投手が、市内児童養護施設を訪問し、子どもたちと交流しました。平成29年度に立ち上げた「児童養護施設退所児童進学応援奨学金事業」は、児童養護施設を巣立つ児童に進学等における奨学金を給付。平成30年(2018年)4月にこの制度を利用し大学進学された学生が、令和4年3月に卒業されました。